

バークレイズ証券、浅見明彦および安藤健実を投資銀行共同部門長に任命

【2014年2月6日、東京】 バークレイズ証券株式会社（以下、「バークレイズ証券」）は、浅見明彦（あさみ あきひこ）および安藤健実（あんどう たけみ）を本日付で投資銀行部門共同部門長に任命しました。安藤は引き続き資本市場本部長を兼任し、浅見はこれまでのコーポレート・ファイナンス部長としての仕事に加え、新たに投資銀行本部長に就任、本職を兼任します。

浅見は2011年6月にバークレイズ証券に入社し、日本における投資銀行部門のセクターカバレッジ・グループを率い、フランチャイズ構築に貢献してきました。ゴールドマン・サックス証券在籍時を含め、テクノロジー・メディア・通信分野およびヘルスケア分野を中心に18年間にわたりM&A助言や資金調達等の投資銀行業務に携わった経験を有します。

安藤は2005年6月にバークレイズ証券に入社して以来、資本市場本部長として、債券資本市場部、株式資本市場部、事業法人部、その他リスクソリューション・不動産証券化関連ビジネスを統括、当社資本市場関係ビジネスの構築・拡大に貢献してきました。

今回の任命にあたり、バークレイズ証券代表取締役社長兼 CEO 中居英治は、次のように述べています。「浅見および安藤は、豊富な経験と数多くの実績を誇り、バークレイズの投資銀行部門の業務拡大に大きく貢献してきました。彼らのリーダーシップの下、日本におけるバークレイズの投資銀行部門のプレゼンスが一層向上することを期待しています。」

今回の就任は、3年半にわたりバークレイズ証券副会長兼投資銀行部門長の職にあった河野哲也が退職することに伴うものです。

バークレイズ証券の投資銀行部門は、引き続き世界各国に広がるネットワーク、高い専門性、国内市場への深い理解を基に、お客様の事業の成長を支援していきます。

##

バークレイズについて

バークレイズは世界で事業を展開し、お客様に貸付、投資、資産保護のサービスを提供しています。バンキング事業では300年以上の歴史と卓越した専門性を有しており、世界50カ国以上で展開し、約140,000人の従業員を擁しています。

バークレイズは世界の大手事業法人、政府、金融機関のお客様にニーズに応じた戦略的アドバイス、資金調達およびリスク管理に関するフルレンジのサービスを提供しています。お客様にはバークレイズ・グループ全体に幅広くわたる、金融に関する専門性をお届けしています。また、世界最大規模の金融サービス機関として、リテール・バンキング、クレジットカード、コーポレート・バンキング、ウェルスおよびインベストメント・マネジメントの事業も展開しています。

バークレイズ・グループは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーを通じ、世界トップクラスの投資銀行サービスと金融商品をお客様に提供しています。